



令和元年度第4回一宮町文化財講座 江戸時代の九十九里地域の 地震・津波被害

講師：古山豊氏（大網白里市文化財審議会会長）



▲延宝の津波供養塔（町指定文化財）

太平洋という「海」は九十九里浜沿岸地域に古くから多くの「富」をもたらしました。特に江戸時代は地曳網漁が盛んに行われて様々な「富」がもたらされ、「網主文化」が隆盛しました。

その一方で、この時代は自然災害が頻発した時代でもあります。地震や火山噴火のみならず、海に面したこの地域では津波被害も確認されています。

今回の講座では、自然災害がもたらした被害とその影響について、ご講演いただきます。

日時：令和2年(2020)3月7日(土)
午後1時30分～午後3時頃
(午後1時受付開始)

会場：一宮町中央公民館・大会議室
(千葉県長生郡一宮町一宮2460)



▲一宮方面から見た九十九里浜

【問い合わせ】 一宮町教育委員会 TEL:0475-42-1416

※参加無料、定員はありませんので、どなたでも参加できます。